

実施計画

1. 申請者の概要

申請区分 (創業予定者、個人事業主、法人)	法人
--------------------------	----

<個人(創業予定者・個人事業主)>

フリガナ		屋号(個人事業主のみ)	
申請者氏名		生年月日 (年度末時点の年齢)	(和暦) 年 月 日(歳)
		TEL	
郵便番号	〒 -	E-mail	
住所			

<法人> ※若手・女性リーダー応援プログラム助成事業は法人での申請はできません

フリガナ	〇〇〇〇カブシキガイシャ		
法人名	〇〇〇〇株式会社		
本店所在地	郵便番号	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇	
	住所	東京都〇〇区〇〇町■-■-■	
法人代表者	フリガナ	トウキョウ タロウ	生年月日 (和暦) 昭和41年 10月 10日(58歳)
	氏名	東京 太郎	TEL 03-〇〇〇〇-■■■■■
	役職	代表取締役	E-mail tokyoOtarou@■■■■.com
事業担当者 ※店舗従事者が代表者と異なる場合のみ	フリガナ	コウシャ ハナコ	生年月日 (和暦) 昭和57年 12月 3日(42歳)
	氏名	公社 花子	役職 事業管理部長
連絡担当者 ※代表者と異なる場合のみ	フリガナ	コウシャ ハナコ	役職 事業管理部長
	氏名	公社 花子	TEL 080-■■■■■-〇〇〇〇
都内登記 所在地 ※本店所在地が都外の場合のみ	郵便番号	〒 -	
	住所		

事業開始	創業 (和暦)	平成〇〇年 10 月 1 日			資本金	X,000,000 円			
	法人設立 (和暦)	平成〇〇年 10 月 1 日				うち大企業からの 出資	0 円		
役員数	3 人(監査役を含む)				従業員数	×× 人(うち正社員 △ 人)			
現在の業種 ※複数業種あれば 主な3つを記入 ※募集要項P.27「業 種確認表」参照	小分類 の業種 コード番 号(3桁)	8	2	3	小分類の 業種名	学習塾	業種ごとの 年間売上高	〇〇〇 千円	
		4	1	4				出版業	××× 千円
									千円
現在の 事業概要	<p>当社は平成〇年△月に学習塾として設立。小、中学生を対象に、都内3ヶ所にて事業を運営。</p> <p>①【本校】 〇〇区〇〇町■-■-■ ②【▲▲校】 〇〇区▲▲■-■-■ ③【■■校】 △△区■■■-〇-〇-〇</p> <p>都内屈指の学習塾を目標に、令和5年3月末時点で生徒数700人、前年同月対比+20%達成と、〇〇エリアでは一定の評価を得ているものと自負している。</p> <p>特徴としては少人数制にすることで、一方的な詰め込み型授業ではなく生徒の性格やレベルに合わせた丁寧な授業を行っている。また、代表者が持つネットワークを駆使して専門性の高い講師陣を用意することで、学力向上と志望校への合格を可能にしている。</p> <p>また、近年は学習用の参考書の出版も行っており、こちらについてもアンケートで好評を得ている。今後については、高校生の募集も行う予定であり、現在、講師の採用を積極的に行っている。</p>								
※業歴、業態、特徴等 をできるだけ詳細にご記入 ください。 ※商店街起業・承継支援事業 の「事業承継」区分の方は「被承 継事業」の事業概要もご記入 ください。		出版物の画像		教室風景の画像					
主要取引先(上位3先)						年間売上高			
1	個人顧客				205,235 千円				
2	(株)△△書店				10,354 千円				
3	〇〇〇(株)				5,850 千円				
その他の取引先						1,330 千円			
合計						222,769 千円			

2. 役員・株主名簿<法人>

履歴事項全部証明書に記入されている全役員及び持株比率が70%を超えるまでの全ての株主を持ち株比率が多い順に記入してください。「役員」「株主」欄はそれぞれ該当するものに「○」を、「役職等」欄には役員の「役職」を、役員以外の方は「申請者との関係又は職業」を記載してください。なお、行は必要に応じて追加してください。※合同会社の方は「株主」「持ち株数」「持ち株比率」については記入不要です。

No.	氏名	役員	株主	役職等	持ち株数	持ち株比率
1	東京 太郎	○	○	代表取締役	400	50%
2	東京 花子	○	○	取締役	200	25%
3	東京 一郎	○		監査役		
4	(株)〇〇〇〇		○	取引先	50	6%
5	(株)××キャピタル		○	出資受入先	50	6%
-	その他の株主				100	13%
合計					800	100%
役員・株主名簿が「履歴事項全部証明書」「確定申告書別表2」と異なる場合の理由について						

「3. 補助金・助成金申請状況」以降の項目は、申請区分(創業予定者、個人事業主、法人)に関わらず記入してください。

3. 補助金・助成金申請状況

(1) 過去5年間に国・都・公社等から補助金・助成金の交付を受けましたか。	はい
(2) 現在申請中もしくは3か月以内に申請予定の補助金・助成金がありますか。	いいえ

(1)、(2)のいずれかもしくは両方が「はい」の場合、直近のものから順に記入してください。

年度	申請先	補助・助成事業名	助成金額	本申請との経費の重複	本申請との内容の重複	状態
令和元年	日本商工会議所	小規模事業者持続化補助金	500 千円	なし	なし	完了
			千円			
			千円			
			千円			

4. 公社事業の利用状況(該当する方のみ)

過去5年以内に、利用実績のあるものについて記入してください。

利用	事業名	年度	利用状況
	東京都チャレンジショップ 創の実		
あり	商店街起業促進サポート事業(商店街開業プログラム)	令和4年	完了
あり	TOKYO起業塾(入門コース)	令和3年	完了
	TOKYO起業塾(実践コース)		
	女性起業ゼミ		
	プランコンサルティング		

5. 事業計画

開業予定業種 <small>※申請店舗で行う業種が複数あれば全てを記入 ※募集要項P.29,30記載の指定業種であること ※申請書提出後の変更・修正はできませんのでご注意ください</small>	小分類の業種コード (3桁)	7	6	7	小分類の業種名	喫茶店
		6	0	9		他に分類されない小売業
開業するまでに必要な許認可等 <small>※必要な資格・許認可等は全て記入</small>		食品営業許可・食品衛生責任者・古物商許可				
店舗名		(仮)Café****				
開業予定日 <small>※「事業承継」区分はリニュー</small>		令和 5 年 10 月 1 日 予定				
店舗所在地		〒 □□□ - □□□□ 東京都□□区○○町□-□-□ (最寄駅 ☆☆☆ 線 ○○ 駅 徒歩 10 分)				
営業日・営業時間		月・水・木・金 8:00~19:00 土日祝 9:00~20:00				
会員となる商店街名		☆☆☆商店街振興組合				
事業の具体的な内容 ①店舗のコンセプト、②店舗における創意工夫、③予定メニューや取扱商品・サービスの特徴、④標的顧客、⑤周辺環境、⑥PR活動等について記入してください。 <small>※事業区分が事業承継の方は、承継後の取組について上記の点を中心に記入してください。</small>						
①店舗のコンセプト 「アートに触れる喫茶店」を店舗のコンセプトとし、店内には絵画など美術品を展示するとともに、一部家具にはアンティーク品を配置し、実際にアート作品を見て触れてもらえる環境を作る。セールスポイントは、温かみのある内装や照明。落ち着いた雰囲気演出し、旬の食材を使った軽食のメニューを充実させ月替わりで提供することで、居心地の良いお店作りを目指す。近隣にはない絵画やアンティーク品を取り扱うお店として、一般の飲食店との差別化を図る。						
②店舗における創意工夫 食事を摂りながらアートを楽しんでいただけるよう、洋画や現代アートなど、様々なジャンルのアート雑誌を用意する。書店でもあまり取り扱いのない希少なものを取りそろえ、気に入っていただいた商品は販売も行う。また月に一度、お店を無料開放して、アートに関心がない方にも気軽に鑑賞していただけるよう展示品を公開する。来場者にはコーヒーを1杯無料で提供する。店舗のレイアウトをギャラリーに変えることで、より鑑賞しやすい空間にする。						

③ 予定メニューや取扱商品・サービスの特徴

メインはコーヒー(500円)、チョコレート(500円)、及びケーキ(700円前後)。セットでは800~1,000円を見込んでいる。その他、軽食も扱う予定。
また、店内で使用する調度品類の販売も行う。価格帯は競合店とほぼ同じ。

(1) チョコレート

知人が営んでいる輸入商社から仕入れを行う。月2回発注で、月末締め翌月払いの条件で支払うことで内諾済み。

(2) ウォータードリップのコーヒー

熱湯の熱を加えないため、コーヒー本来の味が楽しめる。水出しコーヒーは抽出に時間がかかるため、提供する店舗はほとんどない。ウォータードリッパーは見た目がスタイリッシュでおしゃれなので、店内のインテリアにも調和し最適である。コーヒー豆は卸売業を行っている知人から仕入れを行い、取引条件は月末締め翌月払い。

(3) その他の食材等

軽食で使用する食材等は、原則として近隣商店街から仕入れ、都度現金払いをする予定。

※具体的なメニューは補足説明資料3~4ページ目に記載

図・表・写真等

④ 標的顧客

第1ターゲットは近隣の美術館に来訪するアートに関心の高い20~30代の女性をターゲットとする。
第2ターゲットは……………

⑤ 周辺環境

□□町は**美術館があることからアートの街として知られており、アートをコンセプトとしたカフェとの相乗効果が望める。……………

(1) 商圏人口

第1次商圏(半径1km)の人口は62,025人。近年では若年ファミリー層にも人気があるエリアで、年代別人口比率では30代が最も多く(約20%)、次いで40代となっている(約16%)。

(2) 競合店の状況

近隣(1km圏内)には競合となるカフェが10店舗ほどあるが、アートを売りとするカフェはエリア内には存在しない。開業数は増加傾向にあるが、廃業数は少ないとのこと(地元不動産業者談)。

競合店における価格設定は、……………。

(3) 周辺施設

(ア) 東京都**美術館・@@公園…

(イ) ○○庭園…

⑥ PR活動

(1) サイト

開店当初は知名度向上を目的として「○○ログ」に力を入れる予定。「○○ログ」に投稿してくれた顧客に半額サービスを行うなどし、投稿数を増やすことでアクセス数も増加させる。

(2) ホームページ・SNS

店舗HP及びInstagramを開設し、主にリピーター向けに新たに入荷したアート作品やアーティストを招いて開催するイベント等の情報提供を行う。

本事業を行う目的・動機

開業等の目的や動機、開業等までの準備等について記入してください。

現在は学習塾を経営しているが、学生時代より美術品に興味を持っており、国内外で絵画やアンティーク品を収集する中で、同じようにアートに興味がある方にゆっくり作品を楽しんでいただきたいという思いが強くなった。

また、学生時代は本格焙煎コーヒーを扱うカフェで4年間アルバイトをしており、……自身でもカフェを開業したいという思いも強くなっていった。

そこで、自分の趣味であるアートとカフェの融合を形に出来ないかと考えるようになった。飲食業の経営経験がないことから、……事業プランも固まったことから今般開業を行うこととした。

本事業の経験、人脈

開業等までに得た本事業に必要なスキルや経験、人脈について記入してください。

教育業界で培った人脈により、異業種の方々とのパイプを作ることができた。その中には飲食業を営んでいる経営者もあり、開業にあたって店舗の内装・仕入先等に関してアドバイスをいただいた。また、自身としても休日の空いた時間は出来る限りカフェ巡りを行い、様々な店舗を見比べてきた。

また、知人が営む輸入商社からは、日本では取扱いのないウィーン製のチョコレートを提供していただく予定であり、……

経営面に関しては現在も経営全般を管理していることや、財務・会計に係る資格を保有していることから、ある程度の知識は有しているものと自負している。

また、現住所は加入する商店街の近くであるため、商店主の方々とは顔なじみであり、生鮮三品などの食材に関しては、仕入れ先として快諾をいただいている状況である。

出店商店街の現状と課題

周辺地域の調査もしくは加入(予定)商店街へのヒアリングを行い、イベントの実施状況も含めた現状と課題を記入してください。

店舗数 **80** 件 会員数 **52** 人

☆☆☆商店街振興組合の会長に話を伺うと、コロナ禍で閉店する飲食店が多く、令和4年3月時点で〇件の空き店舗がある。

半年に一度商店街全体でのセールを行っているが、それも活気がなくなっているとのことであった。また、キャッシュレスの導入やSNSの活用の必要性を感じているが、商店主の高齢化も進んでおり着手できていないとのことであった。

以前から商店街の近くにある美術館へ来ることがあり、この商店街にも足を運んでいたが、「アートの街」としての知名度を活かせていないように感じる。年に一度、商店街地域に隣接する公園で子供向けのアートイベントが行われている件について、会長にヒアリングすると、商店街としては特に関わっていないとのことであった。

事業効果

商店街の現状等を踏まえて、商店街の活性化への貢献度・波及効果について記入してください。

☆☆☆商店街振興組合は、空き店舗が多く、特徴がないことが課題である。

付近には美術館もあるが、これまで商店街としてはアートの町としての知名度を活かせていなかった。そのため、本店が主導して周辺店舗・地域と連携しながらアートイベントにも参加することで、商店街の知名度向上を図る。具体的には、近隣で行われるアートイベントの日程と併せてセールを行ったり、イベント会期中に商店街をイベント仕様(店内や通りにアートを置いたり、装飾したりする等)にし、その様子をSNSで発信することで、商店街の魅力もアピールしていく。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の世界的流行により商店街の人出が減少しているため、会員各店舗の売上の回復を図るための対策を提案する。具体的には会員店舗のECサイトの立上げを支援する。ネットショップ開設までの一連の流れの説明や立上げのワークショップ、掲載する写真の撮り方、集客につながるSNSの活用などについて会員の集まる場にてレクチャーし、販路拡大、新規顧客の開拓のお手伝いをする。さらに会員各店舗のECサイトを集約した商店街のポータルサイトを立上げ、ネット上で地域の住民だけでなく広い商圏の方にアプローチのできる場を作る事を提案する。

商店街における今後の展望 ★若手・女性リーダー応援プログラム助成事業申請者のみ★

将来的に商店街の振興に向けてどのようにしてリーダーシップを発揮していきたいか、商店街における今後の展望等を踏まえて記入してください。

今般の新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、今後の展望が予測しづらい状況ではあるが、コロナ禍であってもリーダーとして商店街、更には地域全体の復興に向けて以下のことに取り組む。

①自身が発起人となり、キャッシュレス決済の導入促進を図る。具体的には商店街の会員の方々を集め講習会を行い、キャッシュレス化の仕組みやメリットなどの基本的な知識から、導入までの手続き方法や使用方法などの実践的な知識まで、各個店に合わせた決済方法を提案・補佐する。

②自身が発起人となり、新型コロナウイルスの影響で、売上減少に苦しむ飲食店等を対象に支援を呼びかけるクラウドファンディングに挑戦する。具体的には〇〇〇プロジェクトと称し、支援金額分の食事券に加え、ドリンクや全メニュー5%オフなどの特典を受けられるサービスを提供する。

新型コロナウイルス感染症収束後は、これまで休止していた夏祭りやハロウィンイベントなどを再開し、既存のプログラムに加え、新しい企画、運営方法を提案する。具体的には地元の小学校に交渉し、ブラスバンド部の演奏や趣味で活動しているミュージシャンの方々を募集し、なるべく低予算で実施できる音楽イベントを夏祭りのプログラムに組み込めるよう、主体的に取り組むたい。音楽を通して、長期間の新型コロナウイルス感染症の影響により疲弊した地元の方々に少しでも笑顔になってもらい、希望を届けることができるようなイベントを実現したいと考える。

⑦
損益計画

損益計画表及びその積算根拠、損益分岐点等について記入してください。

助成対象事業開始後の損益計画表

(単位:千円)

	1年目(月平均)	2年目(月平均)	3年目(月平均)	
売上高・・・①	632	866	1,222	
売上原価・・・②	190	260	367	
販管費	従業員人件費	0	50	150
	家賃	210	210	210
	支払利息	3	3	3
	その他	200	200	250
	合計・・・③	413	463	613
営業利益 ①－②－③	29	143	242	
従業員数	0人(うちパート・アルバイト 0人)	1人(うちパート・アルバイト 1人)	3人(うちパート・アルバイト 3人)	
積算根拠 ・売上高 ・売上原価・経費 ・損益分岐点売上高 ・損益分岐点比率等について記入してください ※飲食店は席数や回転数、その他の業種(小売・サービス業等)は1日想定来店数を踏まえて記入	<p>【売上高】 <イートイン> 客単価1,000円×16席×0.8 回転=12,800円 <テイクアウト> 客単価500円×23人 =11,500円 <合計> 12,800円+11,500円 =24,300円/日 24,300円×26日 =631,800円/月</p> <p>※美術品類の展示販売も行うが、少額の為売上予測には含まれていない。</p> <p>【売上原価・経費】 変動費:売上原価のみとし、 原価率は概ね30%を想定</p> <p>固定費 ①従業員人件費0円(自分と妻で運営) ②家賃210,000円 ③返済額37,000円(利息含む) ④その他(光熱水費等)200,000円 ①+②+③+④=447,000円</p> <p>【損益分岐点売上高】 447,000÷(1-0.3) =638,571円</p> <p>【損益分岐点比率】 638,571÷631,800×100 =101.0%</p>	<p>【売上高】 <イートイン> 客単価1,000円×16席×1.3 回転=20,800円 <テイクアウト> 客単価500円×25人 =12,500円 <合計> 20,800円+12,500円 =33,300円/日 33,300円×26日 =865,800円/月</p> <p>※美術品類の展示販売も行うが、少額の為売上予測には含まれていない。</p> <p>【売上原価・経費】 変動費:売上原価のみとし、 原価率は概ね30%を想定</p> <p>固定費 ①従業員人件費50,000円 ②家賃210,000円 ③返済額37,000円(利息含む) ④その他(光熱水費等)200,000円 ①+②+③+④=497,000円</p> <p>【損益分岐点売上高】 497,000÷(1-0.3) =710,000円</p> <p>【損益分岐点比率】 710,000÷865,800×100 =82.0%</p>	<p>【売上高】 <イートイン> 客単価1,000円×16席×2回 転=32,000円 <テイクアウト> 客単価500円×30人 =15,000円 <合計> 32,000円+15,000円 =47,000円/日 47,000円×26日 =1,222,000円/月</p> <p>※美術品類の展示販売も行うが、少額の為売上予測には含まれていない。</p> <p>【売上原価・経費】 変動費:売上原価のみとし、 原価率は概ね30%を想定</p> <p>固定費 ①従業員人件費150,000円 ②家賃210,000円 ③返済額37,000円(利息含む) ④その他(光熱水費等)250,000円 ①+②+③+④=647,000円</p> <p>【損益分岐点売上高】 647,000÷(1-0.3) =924,285円</p> <p>【損益分岐点比率】 1,071,428÷1,222,000× 100=75.6%</p>	
	<p>損益分岐点売上高÷売上高×100=損益分岐点比率 100%よりオーバーしている場合は赤字、アンダーの場合は黒字の経営となります</p>			
		<p>この例では、 飲食店の一般的な原価率30%=変動比率 として想定しています。</p> <p>業種によってかなり差があるので、各自で 平均原価率をお調べになり、ご自身の事 業に合わせて設定をしてください。</p>	<p>固定費÷{1-(変動費÷売上高)}=損益分岐点売上高 変動費を把握されているなら、上の計算式を利用</p>	<p>固定費合計÷(1-変動比率)=損益分岐点売上高 この金額が損得の分かれ目になります</p>

6. 店舗の概要(賃貸借契約の概要)

物件所有者名 (賃貸の場合は貸主)	大家 太郎		物件所有者と 申請者の関係 (いずれかに✓)	<input type="checkbox"/> 本人 <input checked="" type="checkbox"/> 第三者 <input type="checkbox"/> 三親等以内の親族 <small>(本人又は三親等以内が経営する法人含む)</small> <input type="checkbox"/> その他()										
物件の築年月	平成24 年 3 月築	入居開始時の 物件状態	<input type="checkbox"/> スケルトン <input checked="" type="checkbox"/> 居抜き											
物件の 前利用者情報	店舗名 : [BAR ☆☆☆] 業種 : [飲食業] 営業時期 : 令和3 年 12 月頃まで													
構造	鉄骨 造 3 階建 1 階部分	店舗面積	45.3 m ²											
店舗賃借料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">税抜賃料</td> <td style="text-align: right;">181,818 円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td style="text-align: right;">18,182 円</td> </tr> <tr> <td>共益費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">210,000 円</td> </tr> </table>				税抜賃料	181,818 円	消費税	18,182 円	共益費	0 円	管理費	10,000 円	合計	210,000 円
税抜賃料	181,818 円													
消費税	18,182 円													
共益費	0 円													
管理費	10,000 円													
合計	210,000 円													
契約期間 (予定含む)	契約(予定)日: 令和 5 年 5 月 25 日													
	契約期間: 令和 5 年 6 月 1 日 ~													
	令和 7 年 5 月 31 日 (24 ヶ月)													
	家賃発生予定日: 令和 5 年 6 月 1 日													
契約種類	<input type="checkbox"/> 普通賃貸借 <input checked="" type="checkbox"/> 定期賃貸借(更新見込み: 有 無) <input type="checkbox"/> その他()													

7. 経営知識

(1) 経営に関する経験、研修について該当するものに✓(チェック)し、必要事項を記入してください。

① 過去に1年程度経営幹部として経営に関与するなど相応の経営経験があり、それを証する職務経歴書等を提出する。

② 経営に関する資格を有し、それを証するものを提出する。

保有資格	
------	--

③ 申請日までに以下の経営研修を受講しており、修了証(受講証と研修資料)を提出する。

研修名	商店街開業プログラム	研修日時	令和〇年〇月〇日 ~令和〇年〇月〇日
研修内容	売上・利益計画作り、販促戦略・集客戦略、開業計画作成 等		

④ 開業までに以下の経営研修を受講する。

研修名		研修日時	
受講者氏名		申込状況	申込済み ・ 申込予定
研修内容			

(2) (1)で記入した経験や研修で身に着けた経営知識について、あてはまるものすべてに○をしてください。

※開業までに受講する研修で習得予定の知識も含む。

項目	習得済み	開業までに習得予定
会計・経理等の財務	○	
人事管理	○	
人材育成		
マーケティング	○	
コスト管理	○	
販売促進活動	○	
ITスキル		
上記項目以外に保有している経営知識	令和4年*月 ☆☆☆主催 SNS活用セミナー受講 令和5年*月 日商簿記2級(受験予定)	

8. 実務知識

事業に関する実務知識について該当するものに✓(チェック)し、必要事項を記入してください。

① 同業他社において、実務予定の事業に係る1年程度の実務経験があり、それを証する職務経歴書等を提出する。

② 実施予定の事業に係る資格を有し、それを証するものを提出する。

保有資格	
------	--

③ 申請日までに事業に係る以下の実務研修を受講しており、修了証(受講証と研修資料)を提出する。

研修名		研修日時	
研修内容			

④ 開業までに以下の実務研修を受講する。(※経費申請する場合は、交付決定日から開業までの期間に受講すること)

研修名	食品衛生責任者養成講習会	研修日時	令和5年8月31日
受講費用(税抜) (経費申請する場合のみ)	10,909円	受講者氏名	東京 太郎
研修内容	食品衛生学、公衆衛生学、食品衛生法(6時間)		

9. 開業等における資金調達計画（概ね3ヶ月の計画）

開業等に必要となる全ての資金及びその調達方法を記入してください。（助成金へ申請する経費以外も全て含めてください）

事業開始時の投資計画		金額(千円)	資金調達方法・内容		金額(千円)
設備資金(内外装工事、設備導入等に係る資金)			自己資金(預金等)		進捗状況
(1)	店舗改装工事費	2,200	(1)	自己資金	預金 4,533
(2)	厨房機器購入費	1,932	(2)		
(3)	什器備品購入費(申請外)	200	(3)		
(4)			(4)		
(5)			③ 自己資金 計		4,533
(6)			借入金		進捗状況
(7)			親族・知人、その他からの借入金 内訳		
(8)			(1)		
(9)			(2)		
(10)			(3)		
	① 設備資金 計	4,332	(4)		
運転資金(商品・原材料等の仕入、人件費、宣伝広告、家賃等に係る経費)			金融機関からの借入 内訳		
(1)	商品・材料等の仕入れ(3ヵ月分)	570	(1)	日本政策金融公庫	申請中 2,000
(2)	HP製作費	330	(2)		
(3)	チラシ作成費	262	(3)		
(4)	光熱水費(3ヵ月分)	600	(4)		
(5)	店舗賃貸に係る経費 (家賃3ヵ月分及び敷金・礼金)	1,430	④ 借入金 計		2,000
(6)	雑費(支払利息等)	9	その他		進捗状況
(7)			出資、クラウドファンディング等その他の資金 内訳		
(8)			(1)	クラウドファンディング (Maku〇〇)	募集中 1,000
(9)			(2)		
	② 運転資金 計	3,201	⑤ その他 計		1,000
合 計 (①+②) (注1)		7,533	合 計 (③+④+⑤) (注1)		7,533

(注1) 事業開始時の投資計画の合計金額(①+②)と資金調達方法・内容の合計金額(③+④+⑤)の合計金額が一致するように記入してください。

その他の余裕資金(※)

3,000

※上の資金調達計画の自己資金の他に、万が一の際に使えるように確保している預金等を記入してください。

10. 助成事業の資金計画

(1)経費区分別明細 ※助成対象経費として申請するものについて記入してください。

ア 事業所整備費

(ア) 店舗新装・改装工事費

※税抜100万以上の工事費については、必ず2社以上の「見積書」が必要です。

(単位:円)

費用番号	経費名	単価(税抜)	数量	助成対象経費(税抜)	助成事業に要する経費(税込)
工-1	改装工事費	2,000,000	1	2,000,000	2,200,000
工-2				0	0
工-3				0	0
工-4				0	0
工-5				0	0
計				2,000,000	2,200,000

- ・上記に計上した全ての工事発注予定先について記入してください。
- ・複数見積りがある場合は、一番安価なものを記入してください。
- (※) 交付決定日前に契約する方は、「事前着手届」の提出が必要です。

費用番号	工-1	企業名	〇〇工務店
代表者名	工事 一郎	電話	03-△△△△-■ ■ ■ ■
所在地	東京都**区〇〇■丁目■-■		
事業内容	建築工事、内装工事		
担当部署	営業部	担当者名	〇〇 〇〇
契約予定日	(※) 令和5年7月20日	工事期間	令和5年7月25日～令和5年8月31日
選定理由	3社に見積もりを依頼したところ一番安価であったため。		
上記契約先は、申請者又は申請した法人と資本関係、役員や従業員の兼務はなく、かつ、申請者又は法人役員の3親等以内の親族による経営ではない。			関連なし

費用番号	工-2	企業名	
代表者名		電話	
所在地			
事業内容			
担当部署		担当者名	
契約予定日	(※)	工事期間	令和 年 月 日～ 年 月 日
選定理由			
上記契約先は、申請者又は申請した法人と資本関係、役員や従業員の兼務はなく、かつ、申請者又は法人役員の3親等以内の親族による経営ではない。			

※交付決定日前に契約する方は、「事前着手届」の提出が必要です。

費用番号	工-3	企業名	
代表者名		電話	
所在地			
事業内容			
担当部署		担当者名	
契約予定日 (※)		工事期間	令和 年 月 日 ~ 年 月 日
選定理由			
上記契約先は、申請者又は申請した法人と資本関係、役員や従業員の兼務はなく、かつ、申請者又は法人役員の3親等以内の親族による経営ではない。			

費用番号	工-4	企業名	
代表者名		電話	
所在地			
事業内容			
担当部署		担当者名	
契約予定日 (※)		工事期間	令和 年 月 日 ~ 年 月 日
選定理由			
上記契約先は、申請者又は申請した法人と資本関係、役員や従業員の兼務はなく、かつ、申請者又は法人役員の3親等以内の親族による経営ではない。			

費用番号	工-5	企業名	
代表者名		電話	
所在地			
事業内容			
担当部署		担当者名	
契約予定日 (※)		工事期間	令和 年 月 日 ~ 年 月 日
選定理由			
上記契約先は、申請者又は申請した法人と資本関係、役員や従業員の兼務はなく、かつ、申請者又は法人役員の3親等以内の親族による経営ではない。			

10. 助成事業の資金計画

(1)経費区分別明細 ※助成対象経費として申請するものについて記入してください。

ア 事業所整備費

(イ) 設備・備品購入費

※1点税込み10万円以上のものに限りませ

(単位:円)

費用番号	経費名(品目名)	単価(税抜)	数量	助成対象経費(税抜)	助成事業に要する経費(税込)
備-1	業務用冷蔵庫	272,727	1	272,727	300,000
備-2	コールドテーブル冷蔵庫	181,818	1	181,818	200,000
備-3	製氷機	250,000	1	250,000	275,000
備-4	フードスライサー	123,123	1	123,123	135,435
備-5	コーヒーマシン	200,550	1	200,550	220,605
備-6	コーヒー焙煎機	454,546	1	454,546	500,001
備-7	食器洗浄乾燥機	272,727	1	272,727	300,000
備-8				0	0
備-9				0	0
備-10				0	0
備-11				0	0
備-12				0	0
備-13				0	0
備-14				0	0
備-15				0	0
計				1,755,491	1,931,040

(ウ) 宣伝・広告費

① ホームページ制作・改修費

(単位：円)

費用番号	経費名	単価(税抜)	数量	助成対象経費(税抜)	助成事業に要する経費(税込)
広-1	HP制作費	300,000	1	300,000	330,000
広-2				0	0
計				300,000	330,000

※対象経費の上限は50万円です

② チラシ作成費 ※新聞折込み代やポスティング代も対象です。

費用番号	経費名	単価(税抜)	数量	助成対象経費(税抜)	助成事業に要する経費(税込)
広-3	チラシ作成費 (ポスティング込み)	28	8,500	238,000	261,800
広-4				0	0
計				238,000	261,800

③ 広告掲載費 ※新聞・雑誌等の紙媒体及びWeb広告掲載費に限ります。

費用番号	経費名	単価(税抜)	数量	助成対象経費(税抜)	助成事業に要する経費(税込)
広-5				0	0
広-6				0	0
計				0	0

イ 実務研修受講費 ※経営研修に係る受講費は助成対象となりません。

(単位：円)

費用番号	経費名	単価(税抜)	数量	助成対象経費(税抜)	助成事業に要する経費(税込)
研-1	食品衛生責任者養成講習会	10,909	1	10,909	12,000
研-2				0	0
計				10,909	12,000

ウ 店舗賃借料

(単位：円)

費用番号	経費名	月額家賃(税抜)	月数	助成対象経費(税抜/年額)	助成事業に要する経費(税込/年額)
賃-1	1年目 ※交付決定日から12ヶ月以内	181,818	12	2,181,816	2,399,998
賃-2	2年目 ※交付決定日から13ヶ月以降	181,818	12	2,181,816	2,399,998
計				4,363,632	4,799,995

【若手・女性リーダー応援プログラム助成事業】

※「商店街起業・承継支援事業」のみ単願申請する方は本紙の提出は不要です。

(2) 経費区分別内訳

(単位：円)

経費区分		助成事業に要する 経費（税込）	助成対象経費 （税抜）	助成金交付申請額 （千円未満切捨）（注5）
事業所整備費	店舗新装・改装工事費（注1）	2,200,000	2,000,000	/
	設備・備品購入費（注1）	1,931,040	1,755,491	
	宣伝・広告費（注2）	591,800	538,000	
	小計（注3）	4,722,840	4,293,491	
実務研修受講費（注4）		12,000	10,909	7,000
店舗賃借料	1年目 ※月15万円が交付申請額の上限	2,399,998	2,181,816	1,636,000
	2年目 ※月12万円が交付申請額の上限	2,399,998	2,181,816	1,440,000
	小計	4,799,995	4,363,632	3,076,000
合計		9,534,835	8,668,032	6,303,000

（注1） 「店舗新装・改装工事費」又は「設備・備品購入費」の申請は必須です。

（注2） 「宣伝・広告費」の助成対象経費は150万円が上限です。
「宣伝・広告費」のうち、ホームページ制作費は助成対象経費の上限が50万円です。

（注3） 「事業所整備費」の助成金交付申請額は400万円が上限です。

（注4） 「実務研修受講費」の助成金交付申請額は6万円が上限です。

（注5） 「助成金交付申請額」とは、「助成対象経費」のうち、助成金の交付を希望する額で「助成対象経費」に3/4を乗じた金額（千円未満切捨）で、かつ助成限度額以内です。
（実務研修受講費のみ2/3を乗じる）
助成金交付申請額の合計は、交付申請書表紙の「3. 助成金交付申請額」と等しい金額です。

【商店街起業・承継支援事業】

(2) 経費区分別内訳

(単位：円)

経費区分		助成事業に要する 経費（税込）	助成対象経費 （税抜）	助成金交付申請額 （千円未満切捨）（注5）
事業所 整備費	店舗新装・改装工事費（注1）	2,200,000	2,000,000	
	設備・備品購入費（注1）	1,931,040	1,755,491	
	宣伝・広告費（注2）	591,800	538,000	
	小計（注3）	4,722,840	4,293,491	
実務研修受講費（注4）		12,000	10,909	7,000
店舗 賃借料	1年目 ※月15万円が交付申請額の上限	2,399,998	2,181,816	1,454,000
	2年目 ※月12万円が交付申請額の上限	2,399,998	2,181,816	1,440,000
	小計	4,799,995	4,363,632	2,894,000
合計		9,534,835	8,668,032	5,401,000

（注1） 「店舗新装・改装工事費」又は「設備・備品購入費」の申請は必須です。

（注2） 「宣伝・広告費」の助成対象経費は100万円が上限です。
「宣伝・広告費」のうち、ホームページ制作費は助成対象経費の上限が50万円です。

（注3） 「事業所整備費」の助成金交付申請額は250万円が上限です。

（注4） 「実務研修受講費」の助成金交付申請額は6万円が上限です。

（注5） 「助成金交付申請額」とは、「助成対象経費」のうち、助成金の交付を希望する額で「助成対象経費」に2/3を乗じた金額（千円未満切捨）で、かつ助成限度額以内です。
助成金交付申請額の合計は、交付申請書表紙の「3.助成金交付申請額」と等しい金額です。

11. 事業実施スケジュール

助成事業実施開始日(交付決定日)から開業までのスケジュールを記入してください。取組項目の欄に計画内容を記入し、その実施期間の開始と終了を●と棒線等で示してください。(例:●————●)

経費申請する項目は、「11. 助成事業の資金計画」と同じ費用番号を記入してください。(工-1、備-1 等)

	費用番号	取組項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
店舗新装・改装工事、設備備品、宣伝・広告活動	工-1	店舗改装工事			●————●				
	備-1~7	備品類購入・搬入					●		
	広-1	HP制作				●————●			
	広-3	チラシ作成・配布				●————●			
		SNSで情報発信		●	●————●————●————●————●————●				
研修受講	研-1	食品衛生責任者養成講習会受講				●			
店舗賃借	賃-1~2	賃貸借契約	●	●————●————●————●————●————●					
開業	—	開業予定月					●		